

議会だより

伊那市議会事務局

TEL 0265-96-8149
FAX 0265-76-9117
E-mail gk@inacity.jp

Vol. 38

平成27年12月伊那市議会定例会では29議案と請願・陳情8件・議員提出議案5件が提案され審議を行いました。今定例会に上程された議案を紹介いたします。

全会一致で可決された議案等

(一般案件)

- ◆請負契約の締結
- ◆新市まちづくり計画(新市建設計画)の変更
- ◆過疎地域自立促進計画
- ◆箕輪町との伊那地域定住自立圏形成に関する協定の締結
- ◆南箕輪村との伊那地域定住自立圏形成に関する協定の締結
- ◆市道路線の認定、変更及び廃止について
- ◆公の施設の指定管理者の指定(条例案件)
- ◆伊那市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例
- ◆市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正
- ◆企業立地の促進等のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部改正
- ◆地域自治条例の一部改正

- ◆保育園条例の一部改正
- ◆農業委員会に関する条例等の一部改正
- ◆農業公園条例の一部改正
- ◆防災会議条例の一部改正
- ◆消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- ◆体育施設条例の一部改正
- ◆女性プラザ伊那条例の廃止
- ◆サンライフ伊那条例の廃止
- ◆勤労青少年ホーム条例の廃止

(予算案件)

- ◆一般会計第8回補正予算
- ◆国保直営診療所特別会計1回補正
- ◆下水道事業会計第1回補正予算(請願・陳情)
- ◆介護労働者の処遇改善及び人員配置基準の改善を求める陳情
- ◆TPP交渉大筋合意に関する陳情(議員提出議案)
- ◆介護労働者の処遇改善及び人員配置基準の改善を求める意見書の提出
- ◆環太平洋パートナーシップ(TPP)の協定交渉に関する意見書の提出
- ◆松くい虫防除対策の充実強化等に関する意見書の提出

賛否の分かれた議案等(審議結果と各議員の賛否一覧)

○…議案等に賛成 ×…反対
なお、原則として議長は採決に加わりません。

区分	件名	委員会結果	白鳥	野口	丸山	八木	唐澤	唐澤	橋爪	宮島	竹中	中山	平岩	飯島	若林	飯島	黒河内	柴満	前澤	前田	柳川	飯島	伊藤	本会議結果
			敏明	輝雄	徹一郎	択真	千明	稔	重利	良夫	則子	彰博	國幸	進	敏明	光豊	浩	喜夫	啓子	久子	広美	尚幸	泰雄(議長)	
条例案件	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例(マイナンバー制度導入に伴う改正)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	×	○		可決
案予 件算	平成27年度伊那市一般会計第9回補正予算(主な補正 歳入 ふるさと寄付金 14億円)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×	○		可決
請願 陳情	沖縄の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書の採択を求める陳情	採択	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	×	○		採択
	戦争法の採決強行に抗議し法の廃止を求める請願	不採択	×	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	○	×		不採択
	労働基準法改定案の撤回を求める請願	採択	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	○	×		不採択
	TPP参加に反対し情報公開と国会審議の徹底を求める請願	採択	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	○	×		不採択
	沖縄の米軍辺野古新基地建設の即刻中止と県民に寄り添う計画見直しを求める陳情	不採択	×	×	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	○	×		不採択
	TPP交渉に関する陳情	不採択	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	○	×		不採択
議員 提出 議案	沖縄の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書の提出	付託 省略	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	×	○	×	○		可決
	労働基準法改定案の撤回を求める意見書の提出	付託 省略	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	○	×		否決

12月定例市議会 一般質問から

伊那市議会12月定例会の一般質問は、一問一答方式及び一括方式により12月9日、10日、11日の3日間にわたって行われ、19人の議員が質問に立ちました。質問と答弁の主な内容をお知らせします。



唐澤 千明

伊那市産業団地の売却 推進への取り組みについて

問 唐澤千明議員 ①2年前の土地開発公社引継ぎ時から6区画が売却され起債残高が大きく縮小されたが財政状況は。

②移住・定住促進には働く場所の確保が重要で、今後の優良で有望な企業の誘致と産業用地についての考えは。

答 市長 ①4件の企業用地売却と2件の仮契約

により、繰り上げ償還が進んでいる。財政健全化の取り組みが良い方向に進んでおり、引き続き企業誘致や企業留置、地元

企業の事業拡大の支援に力を入れることで、安定した財政運営を堅持できる。

②まずは現保有地の早期売却が重要。一方で産業立地基本方針に掲げる5万平方メートル程度の用地をストックし、企業誘致と企業留置に努め、多様な業種の確保、新産業の構築をすることで雇用創出を推進していく。

伊那市スポーツ少年団の 元気づくり支援について

問 唐澤千明議員 ①伊那市が管理するグラウンド

は冬季に閉鎖される。利用できない場合には柔軟に対応して欲しいが考えを。②市報で特集を組み、活動のPRをして子どもへの入団を後押しするような広報活動に対しての考えは。

答 教育次長 ①使用期間は条例で規定している。

冬季利用の場合には新たに管理費が発生するため、現段階では規定通りの運用をしていきたい。②引き続きスポーツ振興課に事務局を置き活動を応援していく。団体毎の活動案内ができるようHPを充実したい。



飯島 進

「高遠第2・第3保育園存続問題」と 「移住・定住対策」について

問 飯島進議員 過疎化、少子化などによる地域

事情に合わせ、保育園の休園判断基準の見直しを。また、「存続と未来を考える会」の活動に理解と協力を。

答 市長 基準変更の考え

はない。基準に満たない場合、地域の特性に応じ、NPOや社会福祉法人なども含めた総合的な運営方法の見直しも将来的には必要。地域の皆さんが頑張る活動については、しっかり応援していきたい。

問 飯島進議員 空き家対策は行政と民間が一体とな

って本気に取り組むべき問題では。

答 市長 高遠、長谷で400件の空き家の内50件、

家主と交渉し「空き家バンク」に登録してきた。

問 飯島進議員 伊那地区の空き家調査は。

答 総務部長 市街地で活用可能な空き家12件程度を、

早ければ本年度中にも随時「空き家バンク」に登録したい。

問 飯島進議員 オーガニックをキーワードに移住・

定住を考えている若者が利用しやすいよう高遠町、長谷の中堅所得者向け住宅の入居要件緩和を。

答 市長 両地区には低所得者向けの住宅が少な

いため、中堅所得者向け住宅を活用し、移住・定住に向けた子育て支援ができるよう、入居条件緩和、家賃減額を来年度から行うよう検討している。



若林 敏明

田畑荒らす獣対策の 強化について

問 若林敏明議員 捕獲こそ最大の対策。罾の後始末支援で高齢者や女性でも安心して罾を懸けられるように。

答 市長 鳥獣被害対策実施隊を結成した。引き続き地域の狩猟者確保に取り組み

んでいく。

老朽化した保育園の 改築について

問 若林敏明議員 新山や高遠第2・第3保育園

は、著しく老朽化しているが、園児数の見直し不透明を理由に改修計画がない。一定の見極め期限を設けるべきでは。

答 市長 今後の社会情勢の見極めと地元との話し合いの中で検討する。

菊の湯代替送迎バスの 継続について

問 若林敏明議員 1日平均33人が利用し、皆感謝

している。ただ今回の利用料の40%の値上げの提案は酷で見直してほしい。

答 市長 もう一年現状でやる。利用が増えれば値上げしなくて済むので市民の協力を。



不登校について

問 橋爪重利議員 不登校やひきこもりは、本人が一番悩んでおり、家族は、通学したり、外に出て普通に生活することを望んでいる。①不登校の児童・生徒数及び原因の傾向は。②スクールカウンセラーの状況は。

答 教育委員長 ①小学校21人・中学校60人。原因の特定は難しいが、傾向として、友人関係、学業不振、親子をめぐる問題、家庭不和等が挙げられる。②学校へは月1回半日程度で専門的な助言、指導を行っている。回数や時間が限られ、適時な指導ができないなどの課題があり、県に増員の要望をしていきたい。

ひきこもりについて

問 橋爪重利議員 ひきこもりは、何らかの理由で周囲

の環境に適応できにくくなった時に起こりうる。居宅から居場所へ行けるようになるまでが大変だが、市の取り組みの状況は。

答 市長 社会的孤立者の居場所づくりとして社協に「プリムラ」を週4日開設。当事者が相談窓口に向くことが困難な場合が多いことから、民生児童委員、保健師などの家庭訪問時などを気づきの機会と捉え、子ども相談室、社協、民間団体と連携し支援につなげていきたい。



杭打ち偽装問題と学校の安全性について

問 柳川広美議員 伊那消防署と伊那中央病院の杭打ち工事の安全性は。伊那小は地盤が悪いが杭打ちなしで大丈夫か。

答 市長 データ改ざんはない。安全上の問題は見られない。

教育次長 伊那小の耐震補強工事は専門家が妥当と判断している。倒壊の恐れはない。

医療や介護保険制度の今後について

問 柳川広美議員 要支援の方々を新総合事業へ移行すると介護事業所は赤字が増え経営悪化するのでは。天竜川の東の地域に整形外科開業支援を。

答 市長 新総合事業はサービスを多様化するもの。事業所の協力を得て行きたい。整形外科開業支援は難しい。医師会とも協議し在宅訪問診療等、可能な方法を検討したい。

問 伊澤修二没後100年について 柳川広美議員 伊澤修二が聴覚障害者教育や国家教育・幼児教育に取り組んだことも研究がされるべきではないか。

答 教育長 資料研究の門戸を開き連携協力していく。



小中学校の図書館蔵書の管理とよりよい図書館教育に関わって

問 野口輝雄議員 よりよい図書館教育を進めるため

の学校図書館蔵書のデータベース化を早急に構築するように提案する。

答 教育長 今後、学校図書館蔵書のデータベース化を含む、学校のICT化を、財源を含めて導入を検討していく。またデータベース化に伴う諸入力の方法の検討や使い易くするため図書館の先生方の意見の反映も事業全体で行っていく。

「総合的な学習の時間の発表会」の今後のあり方について

問 野口輝雄議員 継続の是非についての検証は現場の先生の意見を優先的に聞いてほしい。

答 教育委員長 基本的には今後も開催していく予定であるが、児童や先生方の意見を集約して発表交流実行委員会において反省点を検証しながら改善すべき点は改善をしていきたい。

長期に渡る給食費滞納の家庭がある現実に関わって

問 野口輝雄議員 滞納家庭の児童の心情を配慮して早期の解決を望む。

答 教育次長 訴訟は念頭にないが、悪質な場合は検討の余地も残る。昨年度の現年分の

微収率は100%である。



農業を取り巻く環境改善と地域活性化策について

問 白鳥敏明議員 基幹産業である農業を継続的に発展させる為に、農業施設の補修費、本工事費及び材料支給枠も含めて予算の増額を。

答 市長 水路の計画的な補修は必要。市の財政が厳しい中で、毎年一定の予算を確保し対応してきているが充分でないことは承知している。国の関係機関に実情を訴えており、地方の実情を理解していると認識しているが、引き続き要望を行い、緊急性、重要性を見ながら必要な予算措置をしていきたい。

問 白鳥敏明議員 国道153号伊那バイパス、伊駒アルプスロードの開通を想定し、農商工業の活性化と雇用促進にも繋がるよう、バイパス沿線に地元産品を販売できる施設、「道の駅」建設の計画検討を。

答 市長 国道153号バイパス沿線に特色を持った

「道の駅」を設置することは、伊那市の情報発信の新たな拠点となるばかりでなく、地域振興の重要な施設になると考える。国道153号バイパス沿線への設置について、開設時期、位置等の検討を行っていく。国道361号権兵衛トンネル出口付近への「道の駅」は、過去にも検討した経過があったが、周辺施設との関係で立ち消えになっている。この周辺へは「道の駅」でなく、簡単な集客施設でよいと考えている。



前田久子

地域活性化を担う人材育成について

問 前田久子議員 伊那市の更なる活性化に向け、民間活力の登用、人材の発掘が不可欠。人材育成についての見解は。

答 市長 人材発掘と地域の積極的な活動が大事。

地域おこし協力隊を増員したり、リーダーとなりうる地域の

人材を育てていく。

「夢をつむぐ子育て支援」について

問 前田久子議員 ①女性活躍推進法が成立。女性が働きやすい体制づくりは。②子育て世代包括支援センター（日本版ネウボラ「助言の場」）設置でワンストップの相談体制を。③子育てサービスの認知度が低いことは残念。情報を一冊にまとめた子育てガイドブックの各戸への配布を。④子育てメール配信導入は。⑤不妊治療の充実と不育症助成を。

答 市長 ①今年度中に、働き方の見直し等策定する。②相談者の意向を見ながら研究する。③協力者へ幅を広げることも考える。④安心安全メールへ新しいカテゴリを加えることも考える。⑤少子化対策の経済的支援として充実を図り不育症を助成対象として考えていきたい。



宮島良夫

敬老会の助成金について

問 宮島良夫議員 敬老会助成金の減額に対し、各地区から不満が出ている。助成金を敬老会への参加者だけでなく、公平性から言って対象者全員に助成するべき。

答 市長 高齢化の進行に伴い介護保険事業をはじめ高齢者福祉に関する事業費が増大している。敬老の気持ちはあるが、他事業を充実するなど事業全体で見直したものであり、ご理解いただきたい。

移住・定住促進について

問 宮島良夫議員 保育園の定数にこだわらず、特徴ある保育園を存続していくことが人口増につながるのでは。

答 市長 小規模集団のきめ細かな保育ができるが、生きる力の育成には一定規模の集団活動も必要。市の保育目標達成のために保育の質を高め、伊那市らしさを発信していきたい。

憲法の順守と地方自治について

問 宮島良夫議員 安倍政権は憲法に基づく臨時国会を召集しない。安全保障法制、

TPP、消費増税など国会の場で議論されないことに危惧を感じている。市長は自治体の首長としてどう考えるか。

答 市長 議会制民主主義の原則により、議会の場で慎重かつ十分に議論し、結論が出ることを望ましいと考える。



唐澤稔

地域の公共交通について

問 唐澤稔議員 地域交通の見直しについては。

答 市長 全13路線を5年間かけて見直す。地域住民を主体とした路線を守り育てる会を発足し、利用促進の検討を行う。今年度は新山地区の循環バスと西部デマンドタクシーについて見直しを行っている。

問 唐澤稔議員 市内循環バスの内回り運行は。

答 市長 中心市街地の活性化と利便性向上のため、試験的な運行を検討している。定住自立圏構想の中で車両の導入費用、運行費用などを含め、早い時期に実施するよう検討している。

交通安全について

問 唐澤稔議員 高齢者の運転免許証の自主返納についての考えは。

答 市長 高齢者の事故状況は非常に深刻。自主返納者は年々増えている。高齢者の身体の変化に気がつくのは家族であり、説得による返納を奨励しているのが実態である。警察と協力して啓発していく。公共交通の確保や返納後の交通手段も重要な課題。公共交通の割引き制度など、先進事例を参考に検討していきたい。



中山彰博

TPPと市の農業政策について

問 中山彰博議員 農業と地方創生についての考えは。

答 市長 農業は当市の基幹産業であり、農作物が生産されることにより農地保全、地域の活性化が図られる。TPP対策として政策も打ち出され

ており、地方創生事業と併せて取り組んでいく。

問 中山彰博議員 中山間地での農業を守るため、農地の集積・集約が必要では。

答 市長 基盤整備の必要な地域の整備、小区画農地の規模拡大・整備、担い手の確保・育成、法人化の促進などに取組んでいかなければと考える。

問 中山彰博議員 新規就農者支援の効果と実態は。

答 市長 経営開始型就農者は30名余り。支援した方のほとんどが就農しており、効果は出ている。

問 中山彰博議員 先駆的に取り組む農家の特産品開発のリーダーに委嘱しては。

答 市長 独自に特産品企画に取り組んでいる方にアドバイザー的な取り組みが可能か検討したい。

問 中山彰博議員 国道・県道・市道にかかると樹木への対応について

問 中山彰博議員 降雪前に道路に覆いかぶさる樹木の伐採、対応を。

答 市長 樹木の管理は所有者の責任である。区長会

等を通じ対応を依頼していく。個人対応が難しい場合には、市に連絡をいただければ相談に乗る。



飯島尚幸

問 市道路路面等の管理について

答 飯島尚幸議員 市が管理すべき市道路路面の草刈り作業について、地続きの耕作者がついでに管理しているのが実状だが、高齢化などで厳しい実態がある。こうした場所へ高遠などで実証実験を進めている「畦畔グリーン」を導入して、省力化が図れないか。実験の内容は、予め土手草を除草剤等で枯らし、整地した上に専用の草の種子を蒔くもの。好条件に恵まれれば、素晴らしい成果が期待できる。

問 市道 市道の畦畔管理の省力化には大変期待できる。種子やコストなど費用対効果の検討も必要。実証実験の結果を見ながら、実施できる場所の検討を行っていく。支給事業として取り組むのも一つの手段として考える。

問 飯島尚幸議員 小中学校が授与する卒業証書とともに、将来、伊那市で羽ばたく期待を込めた市長の「贈る言葉」を添えて、生徒に渡すことができるのか。

答 市長 教育委員会や校長会などと相談し、意見を聴きながら検討したい。

問 飯島尚幸議員 チャレンジ精神、創造性、実行力などを高めるため起業家教育の導入、推進を求めるが。

答 教育長 生徒個々の生き力につながる。各校の特性などをとらえ考えたい。

問 TPP「大筋合意」は国会決議違反、即時撤退を

問 飯島光豊議員 ①TPP P「大筋合意」への市長の立場は。②TPPによる農業被害は。③署名・批准しないように働きかけを。

答 市長 ①国会で承認の是非が厳しく問われている。②国内対策を要請していく。③米・畜産・果樹への影響が出る。再生産可能か検証する。③国を注視しながら要望していく。

問 飯島光豊議員 ①視覚障がい者に点字プリンターで番号通知を。②書類にマインナー記載がなくても、罰則はなく受け取ると国税庁も厚生労働省も言っているが市はどうか。

答 市長 ①点字用プリンターは発注済。②記載は求めるが、番号がないことをもって書類を受け取らないということはない。

問 飯島光豊議員 ①みはらしファームに63万人を集客する感触は。②市民対象そば打ちで集客を。③みはらしの湯の料金を下げて集客を。

答 市長 ①感触はいいと聞いている。②県内外や市民

問 八木折真議員 観桜期の露店で、市外の祭り会場でのトラブルで逮捕された暴力団幹部の親族が運営し、この幹部が実質経営者となっている可能性のある店が営業している。

答 市長 経験豊富で余人をもって代えがたい。無料法律相談でも市民の利用が多く、最善と考える。

問 飯島光豊議員 ①みはらしファームに63万人を集客する感触は。②市民対象そば打ちで集客を。③みはらしの湯の料金を下げて集客を。

答 市長 ①感触はいいと聞いている。②県内外や市民

問 八木折真議員 長年特定の市外在住の顧問弁護士だが、周辺自治体等も同じ弁護士に顧問を依頼しており、双方代理の危険がある。市内事業者振興の観点からも問題がある。

答 市長 長年特定の市外在住の顧問弁護士だが、周辺自治体等も同じ弁護士に顧問を依頼しており、双方代理の危険がある。市内事業者振興の観点からも問題がある。

問 高遠観桜期の露店の一部が暴力団の資金源となっている可能性がある

答 市長 観桜期の露店で、市外の祭り会場でのトラブルで逮捕された暴力団幹部の親族が運営し、この幹部が実質経営者となっている可能性のある店が営業している。

問 八木折真議員 観桜期の露店で、市外の祭り会場でのトラブルで逮捕された暴力団幹部の親族が運営し、この幹部が実質経営者となっている可能性のある店が営業している。

答 市長 観桜期の露店で、市外の祭り会場でのトラブルで逮捕された暴力団幹部の親族が運営し、この幹部が実質経営者となっている可能性のある店が営業している。

問 八木折真議員 観桜期の露店で、市外の祭り会場でのトラブルで逮捕された暴力団幹部の親族が運営し、この幹部が実質経営者となっている可能性のある店が営業している。

を集客する企画を考える。③研究する。



問 八木折真議員 長年特定の市外在住の顧問弁護士だが、周辺自治体等も同じ弁護士に顧問を依頼しており、双方代理の危険がある。市内事業者振興の観点からも問題がある。

答 市長 経験豊富で余人をもって代えがたい。無料法律相談でも市民の利用が多く、最善と考える。

問 高遠観桜期の露店の一部が暴力団の資金源となっている可能性がある

答 市長 観桜期の露店で、市外の祭り会場でのトラブルで逮捕された暴力団幹部の親族が運営し、この幹部が実質経営者となっている可能性のある店が営業している。

問 八木折真議員 観桜期の露店で、市外の祭り会場でのトラブルで逮捕された暴力団幹部の親族が運営し、この幹部が実質経営者となっている可能性のある店が営業している。

答 市長 観桜期の露店で、市外の祭り会場でのトラブルで逮捕された暴力団幹部の親族が運営し、この幹部が実質経営者となっている可能性のある店が営業している。

問 八木折真議員 観桜期の露店で、市外の祭り会場でのトラブルで逮捕された暴力団幹部の親族が運営し、この幹部が実質経営者となっている可能性のある店が営業している。

答 市長 出店者や従業員の名簿を提出してもらっており、暴力団関係者でないことを警察に確認している。名簿以外の者の従事はない。

高遠第2・第3保育園の存続に向けて住民組織が努力を続けている。市の支援策は

問 八木 折真議員 来年度入園予定で家が見つかっていないご家族がある。中堅所得者向け住宅の所得要件緩和を。また、住民の会が相談しやすいよう、縦割りではなく組織を横断した担当の設置も要望したい。

答 市長 来年度から移住・定住に向けた子育て支援ができるよう検討している。住民の会へ可能な支援はしていく。

問 竹中 則子議員 昨年末の県内民有林松くい虫



「市民と議会との意見交換会」から「松くい虫」対策について

問 竹中 則子議員 昨年末の県内民有林松くい虫

被害は、75、911立方メートルとなり、伊那市の被害量は、2、154立方メートルに及んだ。3年間の対策費は1億円を超え地域住民の不安は大きく、市内全域に拡大をする

答 市長 モデル地域が基本だが、前向きに取り組む地域は支援していく。

問 竹中 則子議員 市民自ら

答 市長 市としては引き続き「伊那市松くい虫対策協議会」を中心に取り組んで行くが、東西春近地区や富県地区のように住民自らが率先して取り組み効果を上げている地域もあり、このような取組が市内全域に広がることを期待し、市としても一緒に取り組んでいきたい。

問 竹中 則子議員 国県の補助金が十分に確保で

答 市長 市としては引き続き「伊那市松くい虫対策協議会」を中心に取り組んで行くが、東西春近地区や富県地区のように住民自らが率先して取り組み効果を上げている地域もあり、このような取組が市内全域に広がることを期待し、市としても一緒に取り組んでいきたい。

「保育園整備計画」後期5か年計画の策定にあたって



黒河内浩議員

きず対策が追いつかない松くい虫対策に、ふるさとを思い、現在多くの寄付金が届いている「ふるさと納税」の活用を。

答 市長 寄付者からは、使途要望もいただいております。最も多いのは自然環境・景観保全である。意向を尊重しながら、新年度予算の中で、有効な活用を検討したい。

問 黒河内浩議員 この5か年での保育園の統廃

答 市長 計画通りの統廃合を進めることにより保育園運営費が4億円削減でき、保育料も1億7千万円下げる事ができた。

問 黒河内浩議員 過疎地域の保育園を存続させる

答 市長 計画通りの統廃合を進めることにより保育園運営費が4億円削減でき、保育料も1億7千万円下げる事ができた。

「保育園整備計画」後期5か年計画の策定

問 黒河内浩議員 過疎地域の保育園を存続させる

たつては現行の休廃園基準を見直すべきであり、市民の意見を聞くためにも子ども・子育て審議会を通じて議論すべきだ。

答 市長 過疎地域の保育園には柔軟性をもって対応したい。今後の議論の中で検討する。

問 黒河内浩議員 保護者の多様なニーズに

答 市長 民営化方針は継続して、大きな課題として取り上げていく。NPO法人の運営も選択肢の中に取り、しなやかな対応をしていきたい。

問 黒河内浩議員 保護者の多様なニーズに

答 市長 民営化方針は継続して、大きな課題として取り上げていく。NPO法人の運営も選択肢の中に取り、しなやかな対応をしていきたい。



平岩國幸議員

問 平岩國幸議員 飯田線の今後について、具体的に、JRにどのような働きかけをしているか。

答 市長 伊那谷の各自治体、県、商工会議所等と、飯田線の活性化や広域的な地域振興を目指し飯田線活性化期成同盟会を発足。観光客の誘致や特急の運行などの要望を行っている。

問 平岩國幸議員 外国人の観光客が伊那谷に訪れる

答 市長 伊那谷や諏訪地区には外国人の観光客が少なく。この問題は行政も考えなければならぬ問題でもある。PR等の方法を研究する。

問 平岩國幸議員 第30回伊澤修二記念音楽祭で

答 教育長 講演や記念展示などのほか、音楽祭については、第2部でジュニアオーケストラとの共演を考えている。更に藝大生による小中学校の総合学習への指導なども考えている。

問 平岩國幸議員 文化体育館は耐震化がされていないが、早期の耐震対策が必要と考えるが。

答 教育長 講演や記念展示などのほか、音楽祭については、第2部でジュニアオーケストラとの共演を考えている。更に藝大生による小中学校の総合学習への指導なども考えている。

問 平岩國幸議員 文化体育館は耐震化がされていないが、早期の耐震対策が必要と考えるが。

答 教育長 講演や記念展示などのほか、音楽祭については、第2部でジュニアオーケストラとの共演を考えている。更に藝大生による小中学校の総合学習への指導なども考えている。

答 市長 1月に耐震診断結果が提出されるので、結果を見て耐震化の時期や規模を判断していきたい。



丸山 敬一郎

● 三峰川源流を観光資源として市民のもとへ

問 丸山 敬一郎議員 三峰川源流の渓谷は大変素晴らしい観光資源。現在、三峰川林道は通行止めになっているが、復旧の見込みは。

答 市長 林道の延長が約15キロメートルと長く、崩落防止等の安全対策が必要箇所が多い。膨大な費用もかかり、市だけでは対応できないので、関係機関と調整しながら安全対策を進めるが、開通の目途はたっていない。

問 丸山 敬一郎議員 戸草ダムの建設を国に働きかける考えは。

答 市長 自然エネルギーのあり方も見直されており、利水ダムとしての戸草ダムを考え直してみたい。

問 丸山 敬一郎議員 三峰川源流、塩見岳を含めた南アルプス山岳観光の構想は。

答 市長 長谷地域を南アルプス北部の登山基地として整備、発信して行きたい。塩見岳は伊那市の最高峰であり、塩見新道の整備、登山者の安全確保を図っていきたい。

● 文化財の保護について

問 丸山 敬一郎議員 埋蔵文化財包蔵地分布地図のデータベース化の現状は。

答 教育次長 「上伊那安心安全マップ」で閲覧できるよう作業を進めている。今年度中に公開できる予定。

問 丸山 敬一郎議員 古墳の分布調査を。

答 教育次長 埋蔵文化財包蔵地の分布調査も含めて検討していきたい。



前澤 啓子

● 学校給食のより良い方向性について

問 前澤 啓子議員 西箕輪の委託給食は冷めている。冬を迎え温かい状態で食べられるよう改善してほしい。その後の異物混入の状況は。

答 教育委員長 根本的改善はできていない。改善を要望していく。混入は月数件ある。混入経路の確認、再発防止の方法等を含め、指導を行っている。

● 市長とじかに話をする ことの意味はどこにあるか

問 前澤 啓子議員 市長は主権者の陳情・要望を拒否すべきではない。条件を付けずに、市長と障がい者団体との語る会を行うつもりはないか。

答 市長 テーマを決めて政策や課題などについて意見交換をしている。単なる陳情や要望の場にしたくない。個人レベルの要望では方向が変わってしまうことがある。趣旨に沿って今後も行っていく。

● 一連の不落工事について

問 前澤 啓子議員 入札予定価格は市長が定めている。となると予定価格との大きな開きも市長の責任では。当初

答 市長 予算とコンサル見積額との大きな差を上司は把握していたか。建設場所や構造等特殊な事情、また、平成25年以降急激な労務単価や資

材の高騰があり、実勢価格とのずれのチェックが甘かった。コンサル見積額との差は把握していなかったが改善した。

お知らせ

請願・陳情

請願・陳情書は、定例会開会前に開催される議会運営委員会前日までに提出されたものを、その定例会で審査します。ご提出いただきました請願・陳情は、定例会本会議で委員会へ付託し、審査報告の後、本会議で採決します。

次回3月定例会審査の受理期限は、2月19日です。(期限は、変更となる場合もあります。議会事務局へご確認のうえご提出ください。)

傍聴にお越しください

平成27年12月定例会は、45人の方が傍聴されました。市議会は、ごなたでも傍聴できますので、お気軽に傍聴にお越しください。なお、団体で傍聴される場合は席に限りがありますので、あらかじめ議会事務局までご連絡ください。

議会中継

議会中継は、伊那ケーブルテレビ「伊那市チャンネル」で放送しています。翌日には再放送も行っていますので是非ご覧ください。チャンネルは次のとおり。

デジタル 11 チャンネル

STB(デジタルチューナー)でご覧になる場合は

デジタル C 511 チャンネル

次回3月定例会の詳しい放送予定は、「市報いな」3月号をご覧ください。



伊藤 泰雄 議長

公式フェイスブック

伊那市議会では、公式フェイスブックを開設しています。最新の情報を掲載していますので是非ご覧ください。
<http://www.facebook.com/inashigikai>

社会委員会の活動報告

市民と議会との意見交換会(テーマ「子育て支援について」)「少子社会での子育てを考える」において、多くの積極的な意見をいただき、中でも、高遠第2・第3保育園の存続についてせつぱ詰まった状況ということで、多くの意見をいただきました。

そこで11月19日に高遠第2・第3保育園の行事に参加し、その後、懇談会を開催しました。

第3回「もりの子会」に参加

まず、高遠第2・第3保育園で行われた、地域連絡会、第3回「もりの子会」に参加しました。
①「信州型自然保育 外で遊ぶ(山の散策)」に同行



園児とともに急斜面を登る

園の裏山は2枚の畑を隔てたところから急峻な山林となっており、園児とともにそこを登り、20分かけて頂ぎにつきました。

同行した私たちも悪戦苦闘するほどの山肌で、子どもたちはどんぐり、赤い実等を発見し、往復1時間の行程も楽しく、満足できました。

たくましく元気な子どもたちの姿に、和やかな気持ちになるひとときでした。

②地域連絡会と懇談

高遠第2・第3保育園地域連絡会「もりの子会」のメンバーの皆さん15名と、園長先生のリードで懇談を行い、園への思いをお聞きました。

その中で、「園もフィールドも素晴らしい」「先生方が熱心でありがたい」「保育園は地域の魅力である」との意見があり、地域との

つながりを大切にしたい保育を行っていることを実感することができました。

その後、子どもたちと地域連絡会の皆さんで作って下さった豚汁で昼食を一緒にいただきました。



地域連絡会との懇談

「高遠第2・第3保育園の存続と未来を考える会」と懇談

会場を荒町公民館に移し、「高遠第2・第3保育園の存続と未来を考える会」の方々と懇談を行いました。

会の平成27年度事業計画、重点活動等をお聞きし、園の存続に向けて地域を挙げて積極的に取り組んでいることが分かりました。

その後、春夏秋冬、特徴のある保育行事の様子について写真を

交えて報告いただきました。

懇談の中では、「定住促進住宅の同居条件を緩和してほしい」「過疎地対策には特別な手当をする必要がある」「小規模保育園のあり方を市としてどう考えるか」「移住の考えは暮らし方を選ぶもので、呼び込み工夫を」「この地に向いている人が定着しているのでは」「人とのつながりを大切に思っている」等の質問、意見が出され、移住定住の促進、園

経済建設委員会の活動報告

9月17日に、西箕輪にある「みはらしファーム農業公園」の関係団体と、11月11日に農業委員会と懇談会を開催しました。



みはらしファーム

みはらしファーム農業公園の関係団体と懇談

この施設は温泉を活用し、市が事業計画をたて平成11年にオープンした農業公園です。

減少してきた集客人口を年間63万人までに増加させることなどを目標に、市が国の半額補助を受け、総事業費1億4千万円余をかけた2000人規模の大型の体験交流施設が建設されています。

今年4月のオープンを控え、

の存続、地域の活性化について活発な意見交換が行われました。



「高遠第2・第3保育園の存続と未来を考える会」との懇談

様々な課題を話し合いました。

市の指定管理者となる「はびる農業公園管理組合」からは、地元農産物のそば・パン・豆腐作りなどの体験を短時間で行うメニューを旅行会社等に提案しツアー団体客を集客する戦略が示されました。

これに対し観光産業としての経営の厳しさが指摘されるとともに、集客への期待も語られました。

また、観光協会との連携や、組織や経営の中期計画を策定することの重要さも話し合われました。



建設中の交流促進施設

最後に、今後ともこの事業が成功につながるように、議会としても関係機関と連携して協議を続けることを確認しました。



りんご栽培の様子

農業委員会と懇談

市民と議会との意見交換会に出された意見、今年4月から実施される農業委員会委員の選任に関する条例の改正、みはらしファーム交流施設建設等、多くの課題が山積する中で、農業委員会と懇談し、皆さん熱く語り、意義ある討論が交わされました。例年この時期に提出される、農業委員会から市長への「建議書」が今年も出されており、農業委員会会長から詳細に説明がありました。

建議書の内容の主なものは、伊那市の農業振興のための土地利用計画の策定や、農業後継者、担い手対策として、若い世代の新規就農者が増え、農業経営が末永く成り立つための支援、また、有害鳥獣対策及び遊休農地対策であり、行政と議会が惜しみなく続けることの重要性が確認されました。

伊那市議会では新宿区議会と議員間交流に取り組んでいます。

伊那市と新宿区は友好都市提携をしていますが、議会もこの提携に基づき、交流促進を図っています。

新宿区議全員が伊那市を訪問し意見交換しました。

11月5、6日に新宿区議会が来伊し、国立信州高遠青少年自然の家、ますみが丘平地林の「新宿の森」、みはらしファームなどを視察しました。

新宿の森では新宿区の資金提供により間伐を進め、平地林内を整備しています。新宿区の小学生が、毎年ますみが丘平地林の間伐体験に参加しています。

また、カーボンオフセット事業として、同じく新宿区の出資により、鹿嶺高原の間伐を実施し



森林整備の状況の説明を受ける新宿区議と伊那市議

この建議書にできる限り沿えるように、議会も協力と努力をしたと考えています。今年4月から、農業委員会の委員が約半数となり、新しく「農地利用最適化推進委員」が委嘱されます。農業委員と密に連携を取り、地域農業の発展、課題解決に当たっていただきたいと、新組織に期待するものです。

伊那市交流コーナーを新宿区議が応援

しており、CO₂（二酸化炭素）削減の先進例として高く評価されています。



イーナちゃんとともに写真に納まる新宿区議の皆さん

11月7日には「若者のつどい2015」が新宿区で開催され、伊那市交流コーナーに新宿区議会の議員が応援に来てくれました。

このコーナーでは伊那市の子育ての様子を新宿の若者の皆さんに紹介し、伊那市での田舎暮らし情報を提供しました。